

建設常任委員会（平成26年11月5日）開催状況

開催年月日 平成26年11月5日（水）
 質問者 公明党 吉井 透 委員
 担当部課 建設部建設政策局建設管理課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 競争入札参加資格審査について</p> <p>担当局長からの報告や、ただ今の吉田委員へのご答弁にもありましたが、競争入札参加資格審査の改正案では、良質な社会資本整備や維持管理に加え、人材確保や就労環境改善、地域貢献への努力を評価するというものであります。本道の人口減が進む中、地方の典型的な地場企業である建設会社は、働き手の地元定着や若い男性や女性の人口流出対策に大事な存在であると思います。道は、建設業協会などの意見を踏まえる一方、直面する地域の課題に対する建設業の役割をしっかりと示し、そのリード役を果たしていくことが大事であると考えます。今回の技術・社会点の改正案について、このような視点からいくつか質問させていただきます。</p> <p>(一) 地域における建設業の役割について</p> <p>まず、先ほど説明のあった改正案では、公共工事の担い手の中長期的な育成・確保のため、若年者雇用をした企業や「北海道あったかファミリー応援企業登録制度」の登録者を加点するとのことですが、現在、本道の人口減少が進む中、人々が地域に定着するためには、地域における多様な就業機会の創出も重要と私は考えております。</p> <p>建設業が中長期的な担い手を確保して就業機会が増えることは、地域にとっては、建設業が交通安全や防災、社会貢献活動などの面でも大きな役割を果たしていることから重要なことであると考えますが、地域における建設業の役割をどう考え、今回の見直しにどう反映させているのかお伺いをします。</p> <p>(二) 「北海道あったかファミリー応援企業登録制度」の登録状況について</p> <p>次に、人々が地域に定着するためには、地域の若年者夫婦が子育てをしながら安心して暮らし、そして働ける環境が求められます。その点で、今回新たに対象とした、育児・介護休業法への企業の自主的な取組を促進するため道が策定した「北海道あったかファミリー応援企業登録制度」の登録者を加点することは就労環境の改善には非常に大事なことであると考えます。</p> <p>また、人口減少や高齢化が進行する中、地域づくりにおい</p>	<p>○ 建設管理課長 板谷悟</p> <p>地域における建設業の役割などについてでございますが、道内の建設業は、良質な社会資本整備はもとより、災害時の対応など、安全・安心な暮らしを支える重要な役割を果たしているものと考えているところでございます。</p> <p>とりわけ地域におきましては、基幹産業として経済、雇用を支えるとともに、地域に根ざした社会貢献活動におきましても大きな役割を担っているものと認識しているところでございます。</p> <p>このため、これまでの資格審査では、公共土木施設の維持管理や除雪など「地域社会の維持への貢献」を評価してきたところでございますが、今回の見直しにおいても、若年者雇用への取組を新たな審査項目とすることによりまして、担い手の中長期的な育成・確保を促すものと考えているところでございます。</p> <p>○ 建設管理課長 板谷悟</p> <p>北海道あったかファミリー応援企業の登録状況についてでございますが、平成26年10月現在の登録状況は、建設業では、従業員数5,868人、そのうち女性は467人で、8パーセント。建設業以外では、従業員数5,029人、そのうち女性は1,349人で、27パーセントとなっており、建設業の女性従業員の比率は、他の業種に比べて低くなっているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>では女性の更なる活躍を推進する必要もあると考えます。</p> <p>そこで、経済部が公表しているデータによると、この制度には、現在138社が登録しているとのことですが、建設業と他業種での女性従業員の比較はどのようになっているのかお伺いをします。</p> <p>(三) 女性の活躍促進への評価について</p> <p>女性の活躍促進といった視点では、ただいま答弁にあったとおり、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる建設業においても、まだまだ不足しているものと考えます。そこで最後にお伺いしますが、先月、道として「北の輝く女性応援会議」が設置されたと承知をしておりますが、今後、地域に根ざした建設業も、女性の活躍促進について加点などの評価を検討していくべきと考えておりますがいかがでしょうか、お伺いをします。</p> <p>「北の輝く女性応援会議」だけではなく、幅広く考え方を集約してご検討いただけるものと受け止めました。私実は、少子高齢社会対策特別委員会の委員でもございますが、地方の人口減少対策としての働き手、特に若年の女性の地元定着は大事なテーマであると考えております。</p> <p>そうした中で、地場企業の建設会社の存在は大変に大きいものと思います。この活用について総合評価で0.5点でも加点があれば、地場で女性の作業員や技術者を活用しようというところも出てくる。また、地域貢献の一環になるという前向きな会社の声も実は伺っているところであります。また、先に視察をした発電所ダム工事では、これは大きな企業でありましたが、50トンダンプのオペレータの2人、運転手ですけれども、の方が女性であるという話も伺ってきたところであります。環境の変化や社会の動きは早いと思います。是非とも女性活躍促進への加点ということで、今後ともご検討いただけるようお願いをして質問を終わります。</p>	<p>○ 建設部長 下出育生</p> <p>女性の活躍促進についてでございますが、女性の活躍促進による北海道経済及び地域づくりの活性化などを目指す「北の輝く女性応援会議」が去る10月21日に開催されたところであります。</p> <p>建設部といたしましては、建設業を取り巻く環境や社会的要請を踏まえ関係団体のご意見も伺いながら男女が共に働きやすい環境整備に向けた取組について、引き続き検討してまいる考えでございます。</p>